

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実施状況及び効果検証

(単位：円)

No	補助・単独	事業の名称	事業の概要	事業 始期	事業 終期	総事業費 (年度内遂 行実績額)	交付金 充当額 (年度内遂 行実績額)	実施状況	効果検証
1	単独	訓子府町元 気なまちづ くり商品券 発行事業	各家庭での感染予防対策及びコ ロナ禍での生活を支援するた め、町内の店舗で使用できる5 千円相当の商品券を全町民に配 布するとともに、ひっ迫した町 内商店等の経営持続化を図る。	R2.5	R2.11	24,926,819	24,926,000	◆商品券利用可能店舗 59店舗 ◆対象者 町民4,838人 ◆商品券発行額 24,190,000円 (町民4,838人×5,000円分) ◆券面額 5,000円(500円分×10枚) ◆商品券使用額 23,832,000円(47,664枚) ◆使用期間 R2.5.15～R2.9.30	発行額が24,190,000円に対して、使用額が 23,832,000円で、商品券使用率が約98.5%と 多くの町民に利用され、町民生活の安定及び 町内経済の活性化及び地域の振興に寄与する ことができた。
2	単独	新型コロナ ウイルス対 策経営継続 支援事業	飲食店をはじめとした町内経済 の急激な低迷により、町内の飲 食店・宿泊業・観光業に限定し た上で今後の経営持続を条件と して、支援金(一律30万円)を 給付する。	R2.5	R2.6	5,700,000	5,700,000	◆対象者要件 下記のいずれかに該当し、町内に 事業所を置くまたは営業をし、今後も営業を継続 する意思があること。 (1) 食品衛生法第52条に基づく許可を受けてい ること (2) 旅館業法第3条に基づく許可を受け ていること (3) 道路運送法第4条に基づく許可 を受けていること ◆補助金額 1事業者300千円 ◆申請件数 19件 ◆申請期間 R2.5.8～R2.6.30	申請件数が19件で補助金交付額の合計が 5,700,000円となった。新型コロナウイルス感 染症の影響を大きく受けた飲食業、宿泊業及 び観光業(貸切バス運行)を営む事業者に対 し、補助金を支給することによって、経営継 続の支援を行うという当初の目的が達成でき た。
3	単独	感染症予防 事業	全国的なマスク不足により、町 民のマスク入手が困難となっ ていることから、町民の感染症予 防を目的としてマスクを購入 し、妊婦や持病を持っている方 を優先的に配布する。	R2.5	R2.6	1,320,000	1,320,000	重症化リスクの高い人へのマスク配布として、 病気治療により免疫機能が落ちている人や難病に 指定されている人・妊産婦等で、通院等にマスク が必要な方を対象に、町のホームページや広報掲 載、新聞折り込みチラシで周知し、申し出により 概ね1ヶ月先の通院、外出に必要な分の枚数を配 布。 また、全町民一人当たり10枚を地域担当職員 により戸別配布を実施。	マスク不足に伴う高値での購入となった が、品薄状態で入手が困難となっている町民 へ配布することで感染予防へつなげ、町民の 支出経費の負担軽減につながった。 ①在宅酸素使用者5名、②身体障害者手帳 所持者8名、③糖尿病や難病などの慢性疾 患・抗がん剤や免疫抑制剤の治療等により重 症化リスクの高い人、妊産婦でマスク確保が 困難な方(申し出)40名 合計485枚配 布 全町民一人10枚配布 4,747名
4	単独	学生応援ふ るさと小包 事業	感染症拡大により帰省できない 学生やアルバイトの減少、保護 者等の収入減少により困難な生 活を強いられている町外に住む 生学生に地場産品を届け、学生 生活を支援する。	R2.5	R2.12	474,042	174,000	◆申込件数 82件(予算90件) ◆申込期間 R2.6.1～R2.6.30、R2.9.1～ R2.11.30 ◆対象者 訓子府町在住者の子で町外在住の学 生(高校・大学・短大・専門学校等) ◆小包の内容 米5kg、不織布マスク10枚、味の 素食品(糖)商品5品のほか、下記の地元特産品から 4品 ※味の素食品(糖)の商品5品は、受贈したもの。	事業終了後に申込者に対しアンケートを実 施。(82人中35人から回答)本事業により、 「支援にならなかった」と答えた人は0人。 食生活面(32人)、精神面(19人)、金銭面 (18人)、外出機会の減(12人)において支 援が有効的だったとの回答を得ており、当初 の事業目的が達成できた。
5	単独	新型コロナ ウイルス対 策経営継続 支援事業 (業種拡 大)	感染症の影響を受け、減収と なった事業所を減収率に応じて 支援することで事業を継続さ せ、地域経済を維持する。	R2.6	R2.11	20,900,000	20,900,000	◆対象者要件 本町を拠点に事業を行っており、 2月から6月までの1か月の売上が前年同月と比 較し20%以上減少していること。 ◆補助金額 【減少割合40%以上】個人40万円、法人50万円 【減少割合30%以上】個人30万円、法人40万円 【減少割合20%以上】個人20万円、法人30万円 ◆申請件数 55件 ◆申請期間 R2.6.15～R2.8.31(養鶏業者及び養 蜂業者はR2.10.27～R2.11.30)	申請者のうち、個人事業主で減少割合が20% 以上が9件、30%以上が1件、40%以上が31 件、法人で減少割合が20%以上が1件、30% 以上が4件、40%以上が9件だった。これらの 事業者に対し経営継続の支援を行い当初の目 的が達成できた。
6	単独	商工会活動 費補助金事 業	感染症拡大の影響により商店街 の売上が急減していることか ら、その回復のために商工会が 行う事業を補助する。(商工会 プレミアム商品券発行事業)	R2.4	R3.1	215,000	0	◆商品券利用可能店舗 16店舗◆対象者 町 民、町外者◆商品券発行額 3,750,000円(7,500 枚◆券面額 1セット2,500円分(500円分×5枚 綴り)プレミアム25%◆購入限度 1人5セット 10,000円(12,500円分)◆商品券使用額 3,732,500円(7,465枚)◆使用期間 R2.4.20～ R2.8.31	商品券は発行額が3,750,000円に対して、使用 額が3,732,500円で、商品券使用率が約99.5% と多くの町民に利用され、町内の消費喚起に つながった。 ※金額が少額だったことから、他の交付金事 業に充当したため、本事業の充当はない。

No	補助・単独	事業の名称	事業の概要	事業 始期	事業 終期	総事業費 (年度内遂 行実績額)	交付金 充当額 (年度内遂 行実績額)	実施状況	効果検証
7	単独	新型コロナウイルス感染症による訓子府町中小企業特別融資の保証料補助金事業	感染症拡大の影響により、事業継続が困難となっている状況から、その基盤となる金融の円滑化を目的として緊急的な特別融資の信用保証料の全額を補助する。	R2.4	R3.1	248,325	248,000	<p>◆対象者要件</p> <p>(1) 北海道信用保証協会の保証を受けたもの</p> <p>(2) 信用保証料を一括で負担するもの</p> <p>◆補助金額 北海道信用保証協会の信用保証を受ける特定中小企業者が負担する信用保証料の10分の10</p> <p>◆申請件数 5件</p>	申請件数5件、申請者の融資実行額11,500,000円、補助金交付額の合計が248,325円となった。信用保証料をゼロにすることで、特定中小企業者の経営の安定及び今後の業況の回復と発展を図ることができた。
8	単独	公共施設等衛生確保事業	公共施設の衛生環境を整え、社会生活を維持するため、感染症対策に係る消毒液やマスク等を備蓄し、公共空間での感染機会を削減する。	R2.4	R3.3	3,157,420	3,157,000	<p>役場、各学校などの公共施設で使用する消毒液やマスク、非接触型体温計などの消耗品購入。内訳～マスク47,900枚、手指消毒液212ℓ、非接触型体温計14台、アクリル板10台、使い捨て手袋20,000枚、フェイスガード40個、その他スプレー容器など</p> <p>新型コロナウイルス感染症に係る町民周知用のチラシを新聞折り込み。</p> <p>実績～北海道新聞、朝日新聞、読売新聞、経済の伝書鳩の折り込み8回</p>	<p>品薄状態で入手が困難となっている消毒液やマスクを仕入れ、公共施設の衛生環境を整えたほか、町民へマスクを配布することで感染予防へつなげ、町民の支出経費の負担軽減につながった。</p> <p>公共施設入口に非接触型体温計や手指消毒液を設置し、アクリル板を設置した窓口対応により、職員や町民の感染予防につながり、衛生環境を整えることができた。</p>
9	単独	くんねっぷプレミアム付商品券発行事業	感染症拡大の影響により、町内の景気が大きく落ち込んでいることから、町民生活の安定及び町内経済の活性化を図るため、町がプレミアム付商品券を発行する。	R2.8	R3.2	15,914,987	11,605,000	<p>◆対象店舗 63店舗◆対象者 町民、町外者(再販売のみ購入可能)◆商品券発行額 57,792,000円(4,816人×12,000円分)◆券面額 1冊4,000円分(500円分×8枚綴り)プレミアム 33.3%◆購入限度 1人3冊9,000円(12,000円分)◆商品券使用額 57,448,000円(114,896枚)◆使用期間 R2.10.8～R3.1.31</p>	発行額が57,792,000円に対して、使用額が57,448,000円で、商品券使用率が約99.4%と多くの町民に利用され、町民の家計支援及び地域経済の活性化を図ることができた。
10	単独	生活路線バス事業者支援事業	感染症の影響により減収した生活路線バスについて、感染症対策経費の一部を支援するとともに、唯一の公共交通機関としての経営維持・路線数生を確保するため、バス事業者を支援する。	R2.10	R3.2	3,400,000	3,400,000	<p>◆補助内容 沿線3町(訓子府町・置戸町・陸別町)での支援</p> <p>(1)経営継続支援 ～ 3,250千円(本町分)上限額として、上限額を支援</p> <p>(2)感染症対策支援 ～ 10台分で150千円支援 沿線3町で150千円ずつ支援。</p> <p>バスターミナル密接防止ベンチ、自動消毒液噴射機(手指用)、バス車内に消毒液の設置、マスク、消毒液などの購入経費を支援</p>	<p>【経営継続支援】・・・令和元年度よりも約2,124万円の損益が悪化していることから、沿線による支援金を交付することで、バス事業者の経営継続支援ができた。</p> <p>【感染症対策に要した経費】</p> <p>バス事業者の感染症対策経費の一部を支援することで、間接的な運行経費の支援を図るとともに、利用者の感染防止につながるといえる。</p>
11	単独	オンライン会議システム構築事業	感染症防止のため、行政間で開催される各種オンライン会議や研修会に対応するためのモニターを購入する。	R2.9	R2.10	194,480	194,000	液晶モニター(60V) 1台 購入	<p>・厚生労働省主催のオンラインによる新型コロナウイルスワクチン接種体制確保に関する自治体説明会に職員が参加 3回 延べ人数18名</p> <p>・「フォーラムの会」主催のオンラインによる「フォーラムの会」理事会に町長が参加</p> <p>・オンラインによる会議・研修等による感染防止と会議や研修の参加機関の確保ができたといえる。</p>
12	単独	避難所備蓄品整備事業	感染症予防対策を講じた避難所運営に必要な防災備蓄品を購入する。	R2.9	R2.12	4,648,908	3,948,000	<p>感染症予防対策を講じた避難所運営のための防災備蓄品の購入。</p> <p>【整備内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダンボールベッド、パーティション 100台 ・避難所用備蓄マット 10枚入り 10箱 ・非常用トイレセット 2セット ・避難所用寝袋 20個入り 3箱 ・避難所用ベスト150個 ・アクリル板(デスク用)20枚、(コの字型)3枚 ・ウェットティッシュ 12本 ・非接触式体温計 10個 ・マウスシールド 10個入り 5箱 ・サーマルカメラ(ドーム型)1台、(顔認証型)1台 	<p>感染症予防対策を講じた避難所運営に必要な防災備蓄品を整備することで、災害時の備えができた。</p> <p>避難所運営に限らず、通常業務や防災訓練においても活用することができ、感染予防を実践している。</p> <p>サーマルカメラは、大人数が集まるイベントにおいてはドーム型を使用し、会議などの集会においては顔認証型を使用している。</p>

No	補助・単独	事業の名称	事業の概要	事業 始期	事業 終期	総事業費 (年度内遂 行実績額)	交付金 充当額 (年度内遂 行実績額)	実施状況	効果検証
13	単独	日ノ出地区 ふれあいセ ンターエア コン整備事 業	放課後児童クラブが使用する施設の感染症予防対策のため、換気による窓の開閉が多くなることから、室内の温度を管理し、熱中症防止対策を図るため、エアコンを設置する。	R2.9	R2.11	1,100,000	1,100,000	【整備内容】 ・和室研修室へエアコン2台設置 ・事務室へエアコン1台設置	施設内における、こまめな換気による新型コロナウイルス感染拡大防止とそれに伴う室内温度の上昇による利用者の熱中症予防につながった。 また、当施設の利用が原因で感染が拡大した報告はなく事業効果は十分発現したといえる。
14	単独	学校空調設備等整備事業	感染症予防対策による換気のため、夏季授業実施による熱中症対策や換気対策としてエアコン等を整備する。	R2.10	R2.12	11,687,500	11,687,000	【整備内容】 各小中学校にエアコン・天井扇を設置 エアコン 訓子府小学校 4台 (保健室1台・パソコン室1台・通級教室2台) 居武士小学校 2台 (保健室1台・パソコン室1台) 天井扇 訓子府小学校 24台 居武士小学校 8台 訓子府中学校 20台	学校現場における、こまめな換気による新型コロナウイルス感染拡大予防とそれに伴う室内温度の上昇による利用者の熱中症予防につながった。 また、当施設の利用による感染拡大は例は少なく事業効果は発現したといえる。
15	単独	社会教育施設備品整備事業	「新しい生活様式」による社会教育・生涯学習を実施するため、オンライン会議やZOOM会議に対応するための環境整備に伴う備品等を購入する。	R2.10	R2.12	3,641,330	3,641,000	【整備内容】 会議テーブル整備 20台 オンライン講座環境整備 一式 (パソコン、カメラ、カメラスタンド、マイク・スピーカーシステム) 展示用パネル整備 10台	【2月22日時点の利用実績】 ①会議テーブルを増やしたことにより、人と人との間隔をけ、大人数の会議でもソーシャルディスタンスを確保して開催ができた(27件) ②展示パネルを増やしたことにより、イベント等で感染予防のための動線の確保や仕切として使用することができた(7件) ③オンライン講座用の備品をそろえることにより、感染を予防しながら会議を開催したり、研修を受ける環境が整った。(15件) なお、当施設の利用が原因で感染が拡大した報告はなく事業効果は十分発現したといえる。
16	単独	図書除菌機購入事業	感染症拡大防止を図るため、貸出し及び返却図書の除菌を行う図書除菌機を購入する。	R2.9	R2.11	925,551	925,000	【整備内容】 ◆図書館蔵書の除菌、消毒・消臭を行う機器の購入整備と運用 図書返却時に除菌機で一度に6冊を除菌・殺菌・消臭処理を行う。 (1) LIVA図書除菌機 6冊用 1台 (2) 機器消耗品 ・紫外線ランプ(年間)10本 ・消臭抗菌剤(年間)3本	新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため除菌機導入により、迅速に除菌処理を行い、作業にあたる職員の感染防止にもつながった。また、当施設の利用が原因で感染が拡大した報告はなく事業効果は十分発現したといえる。 ◆処理数 1か月:稼働1回6冊×1,000回稼働=約6,000冊(返却図書数) 11月12日~3月末日(見込) 約27,000冊分(約4,500回稼働)
17	単独	子育て3施設感染予防対策事業	子育て3施設における感染症防止対策を講じるための消耗品及び備品を購入する。	R2.9	R2.12	1,438,730	1,438,000	【購入内容】 消毒液 5本、手指アルコール16本、衛生用手袋16箱、調理用手袋7箱、液体石鹸11個、こども用マスク10箱、児童用マスク6箱、非接触型体温計11本、アクリル板92枚、フェイスシールド5箱、ハンドタオル8箱、扇風機12台、羽なし扇風機4台、空気清浄機1台	効率的な換気が可能となり園児や職員、保護者に対しても感染対策を徹底することができている。 衛生手袋、アクリル板を購入したことで、食事の配膳時の手からの感染対策、食事中や授業を行う際の飛沫感染対策が可能となり、当施設の利用が原因で感染が拡大した報告はなく事業効果は十分発現したといえる。

No	補助・単独	事業の名称	事業の概要	事業 始期	事業 終期	総事業費 (年度内遂 行実績額)	交付金 充当額 (年度内遂 行実績額)	実施状況	効果検証
18	単独	児童センター空調設備整備事業	感染症拡大防止のため、換気による窓の開閉が多くなることから、室内の温度を適切に管理し、熱中症防止対策を図るため、エアコンを整備する。	R2.10	R2.11	968,000	968,000	【整備内容】 エアコン(26畳) 2台	施設内における、こまめな換気による新型コロナウイルス感染症拡大防止と施設内の温度を整える利用する児童等の熱中症予防につながった。また、当施設の利用が原因で感染が拡大した報告はなく事業効果は十分発現したといえる。
19	単独	北見赤十字病院新型コロナウイルス対策支援事業	感染症指定医療機関として新型コロナウイルスの検査・治療にあたる北見赤十字病院に対し、近隣4町による支援を行うことにより、広域救急医療体制の維持・確保を図る。	R2.9	R2.11	1,000,000	1,000,000	近隣4町(美幌町、津別町、置戸町、訓子府町)による財政支援 *北見市については既に3,000万円の財政支援を決定していることから、北見市を除く関係4町で平均患者数を基本に按分負担とし、500万円を支援する。 ◆4町の負担額の算定 ・均等割 1町あたり10万円 ・患者数割 4町 460万円 津別町15.7%×460=72.22(70万円) 美幌町52.8%×460=242.88(250万円) 置戸町11.4%×460=52.44(50万円) 訓子府町0.1%×460=92.46(90万円)	①PCR検査装置の導入、②入院病棟のWi-Fi整備、③ICU病床の一部を陰圧室の整備に活用されるなど、感染症指定医療機関の広域救急医療体制の支援と維持につながったといえる。
20	単独	光ファイバ整備に必要な運営支援事業	情報通信基盤を整備することで、コロナ感染拡大時の円滑な情報提供基盤を整備し、必要な運営経費を支援する。(無線システム普及支援事業費等補助金対象経費の地方負担分)	R2.9	R4.3	80,782,000	80,782,000	令和4年1月末に工事が完了し、高速ブロードバンド受付が2月15日から開始された。これにより、町内全域において高速ブロードバンドサービスが提供される情報基盤が整備された。	「高度無線環境整備推進事業における光ファイバ整備計画及び無線局開設計画」における家庭用Wi-Fiの令和5年3月末の予定数値を125箇所と目標設定していたが、令和4年7月1日現在では198箇所が設置されており、目標を大きく上回っている。
21	単独	光ファイバ整備に係る維持管理経費支援事業	情報通信基盤を瑛日することで、コロナ感染拡大時の円滑な情報提供基盤を整備し、必要な運営経費を支援する。(無線システム普及支援事業費等補助金対象外経費分)	R2.9	R4.3	30,150,000	30,150,000	令和4年1月末に工事が完了し、高速ブロードバンド受付が2月15日から開始された。これにより、町内全域において高速ブロードバンドサービスが提供される情報基盤が整備された。	「高度無線環境整備推進事業における光ファイバ整備計画及び無線局開設計画」における家庭用Wi-Fiの令和5年3月末の予定数値を125箇所と目標設定していたが、令和4年7月1日現在では198箇所が設置されており、目標を大きく上回っている。
22	単独	公立学校情報通信ネットワーク環境整備に必要な運営事業	国が進めるGIGAスクール構想に係る校内LAN整備等を行う。	R2.10	R3.3	10,270,000	2,344,000	電源キャビネット設置、LAN整備 キャビネット 訓子府小学校 8台 居武士小学校 4台 訓子府中学校 5台	学校の情報通信ネットワーク環境及び情報機器を整備し、コロナ感染拡大時の臨時休校のリモート授業等の対応が可能になったことにより、クラスター発生時などでも授業の遅れなどに対する影響が抑えることかできる。
23	単独	GIGAスクール構想に必要な環境整備事業	国が進めるGIGAスクール構想に係る校内LAN整備等を行う。	R2.10	R3.3	3,936,350	652,000	端末設定、管理コンソール、授業支援ソフト設定、QRコード認証ソフト設定	学校の情報通信ネットワーク環境及び情報機器を整備し、コロナ感染拡大時の臨時休校のリモート授業等の対応が可能になったことにより、クラスター発生時などでも授業の遅れなどに対する影響が抑えることかできる。
24	単独	公立学校情報機器整備に必要な運営事業	国が進めるGIGAスクール構想に係る1人1台PC端末の実現するための事業。	R2.10	R3.3	4,532,000	332,000	端末、デジタル教科書、タッチペン、WEBカメラ、カメラスタンド、スピーカー、通信料、ルーター(対象外分)の購入	学校の情報通信ネットワーク環境及び情報機器を整備し、コロナ感染拡大時の臨時休校のリモート授業等の対応が可能になったことにより、クラスター発生時などでも授業の遅れなどに対する影響が抑えることかできる。

No	補助・単独	事業の名称	事業の概要	事業 始期	事業 終期	総事業費 (年度内遂 行実績額)	交付金 充当額 (年度内遂 行実績額)	実施状況	効果検証
25	単独	女満別空港 就航航空事 業者支援事 業	新型コロナウイルス感染症の影響により、減便を余儀なくされている航空定期便について、従来便数への復元を促進するとともに、運航便の維持に必要な搭乗率回復に資するための支援として、7～3月の期間中に復元した便数に応じて航空事業者に応援金を交付する。(維持継続便も加算)	R2.9	R3.3	246,000	246,000	・負担金 246,000円 支援金12,313,000円(新千歳便4,777,778円、羽田便4,000,000円、伊丹便222,222円)のうち訓子府町負担分2%(千円未満端数切捨て)	・女満別空港整備・利用促進協議会を通じ航空事業者に応援金を交付。 ・世界的に航空需要が1/3に減少する中、感染拡大前の2/3以上の維持が実現したことから、十分に効果があったといえる。また、生活の足として重要な地域の空港路線であるが、航空会社においても減便する際の時間帯調整の配慮など影響を最小限に抑えることにつながったといえる。
26	単独	女満別空港 就航路線拡 充支援事業	感染症拡大により航空便減便の影響が地域を直撃し、限られた就航先との間で人・モノの流れが停滞したことにより、地域産業に深刻な打撃を与えたことから、これまで就航していない路線の定期便就航拡充を支援することにより、新たな地域との往来を可能とし、地元住民の利便性を高めるだけでなく、都市部からの移住・ワーケーションでの来訪を促進するとともに、オホーツク地域における観光の復興加速化と、経済産業の振興を図る。さらには、他空港との連携により、広域的な人の流動を図る。	R2.9	R3.3	120,000	120,000	・負担金 120,000円 レンタカー乗り捨て利用料割引6,050千円のうち訓子府町負担分2%(千円未満端数切捨て)	感染症防止に配慮した旅行形態をWEB媒体で発信する環境を整備し、首都圏における年明け早々の緊急事態宣言の発令及び二度にわたる延長により、1～2月のサイト閲覧数は大きく低迷したが、2月下旬から3月にかけて緊急事態宣言が段階的に解除されるにつれて、旅行・移動に対する興味・関心が高まり、本事業で用意した就航地及びキャンペーンページの閲覧数は急激に伸びており、宣言解除後の需要回復に向けて、着実な認知度向上や利用促進を図ることができたといえる。
27	単独	新型コロナ ウイルス対 策経営支 援事業	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている町内の飲食店・宿泊業に限定したうえで今後の経営維持を条件として、支援金(一律30万円)を給付する。	R2.12	R2.12	5,100,000	5,100,000	◆対象者要件 町内で営業し、今後も営業を継続する意思があり、「新北海道スタイル」を実践する飲食店及び旅館。 ◆補助金額 1事業者に対し300千円 ◆申請期間 R2.12.10～R2.12.29 ◆申請件数 17件	申請件数が17件、補助金交付額の合計が5,100,000円となっている。飲食業及び宿泊業を営む事業者に対し、支援金を支給することによって、経営継続の支援を行うという当初の目的が達成できた。
28	単独	冬季生活 応援事業	新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって、外出自粛等により家庭での生活が増えていることから、住民税非課税世帯等に対して、暖房費等の生活費や精神的負担が増える冬季の生活を応援するため、申請により一世帯1万5千円を給付する。	R2.12	R3.3	8,669,473	8,669,000	◆対象者要件 (1) 世帯全員が令和2年度の住民税が非課税である世帯。 (2) 生活保護受給世帯。 ◆補助金額 1世帯15,000円 ◆申請期間 R3.1.5～R3.2.26	給付件数572件、給付金額の合計8,580,000円となっている。非課税世帯に対して、暖房費等の生活費や精神的負担が増える冬季の生活を応援し、福祉の向上を図るといった当初の目的が達成できた。
29	補助	無線シス テム普及 支援事業 費等補助 金	(高度無線環境整備推進事業) 光ファイバ網未整備地域を整備し、ICTを活用した日常生活や学習環境、先進的な農業経営を実現するため、町内全域に高速ブロードバンド環境を整備する。	R2.9	R4.3	92,231,000	92,231,000	令和4年1月末に工事が完了し、高速ブロードバンド受付が2月15日から開始された。これにより、町内全域において高速ブロードバンドサービスが提供される情報基盤が整備された。	「高度無線環境整備推進事業における光ファイバ整備計画及び無線局開設計画」における家庭用Wi-Fiの令和5年3月末の予定数値を125箇所と目標設定していたが、令和4年7月1日現在では198箇所が設置されており、目標を大きく上回っている。
30	補助	学校保健 特別対策 事業費補 助金	(学校再開に伴う感染症対策・学習保障に係る支援事業) 新型コロナウイルス感染症の影響から、休校となっていた学校が、授業再開に伴い、感染症対策・学習保障に係る支援を行う。	R2.9	R3.3	5,807,275	2,911,000	網戸の設置や消耗品、備品を購入し学習環境を整えた。 消耗品～マウスシールド・消毒器等(内訳別紙) 備品～洗濯機・移動式クーラー・テレビ・プロジェクター等	十分な教育活動を継続するために感染症対策を徹底しながら児童生徒の学びを保障するための取り組みができた。